

講演会

トーク・シンク・アクション

# フクシマ原発事故と ジェンダー

講師：清水奈名子さん

(宇都宮大学国際学部准教授)

「女が政治や社会の問題に口を出すな・・・」という周囲の圧力が、原発事故以降の被災地域住民や避難者の女性を追いつめてきました。子どもの健康被害に気付くことができるのは女性たちであったのにもかかわらず。東電原発事故をジェンダーの視点で考えていくと、どのような問題が見えるのでしょうか。

## 清水奈名子さんプロフィール

国際基督教大学大学院行政学研究科、博士後期課程修了（学術博士）。  
国連安全保障体制について研究すると同時に、東京電力福島第一原発事故後の被害調査を進めている。近著に「被災者の健康不安と必要な対策」（淡路剛久監修『原発事故被害回復の法と政策』日本評論社、2018年所収）がある。



9月22日（日）13：30～15：30  
かながわ県民センター711

資料代：500円

主催：女性会議神奈川県本部

Tel・Fax 045-662-8148